

小平市公共施設マネジメントニュース

令和2年12月号 vol.2

「(仮称) 小平第十一小学校の更新等に関する基本計画」策定に向けた 小平第十一小学校へ複合化する公共施設の方向性について説明会を開催しました

将来の人口減少、公共施設の老朽化等、公共施設を取り巻く環境が変化中、市ではこれからの公共施設のあり方等について取り組む公共施設マネジメントを推進しています。

小平第十一小学校は、1967年に建築され、建物の老朽化が進んでいることなどから、建て替えることを決め、新しい小平第十一小学校に関する基本計画を令和3年秋頃までに策定する予定です。

小平市では、公民館や地域センターなどの地域学習、コミュニティ機能を、学校建て替えの際に複合化することにより、“小学校を地域の核”とした地域コミュニティの醸成を図っていくことを目指しています。

このたび、小学校へ複合化する標準的な施設、周辺施設の具体的検討等を踏まえ、花小金井北公民館、花小金井北地域センター、十一小学童クラブを複合化する方向性について説明会を行い、延べ19名の参加をいただきました。

説明会では、公共施設マネジメント推進計画で示している考えをもとに、地域コミュニティを醸成するため、公共施設を小学校に複合化する意義として、小学校にはコミュニティスクールや青少年対策地区委員会等の子どもを軸としたコミュニティが既に存在していること、多世代交流による教育効果の増進が期待されること等を示しました。その上で、公民館及び地域センターは、地域における市民の様々な活動の拠点として利用されており、地域コミュニティの醸成に寄与する施設として機能している実態があること、また、両施設における様々な活動は将来的な地域コミュニティ醸成に向けて潜在的な可能性を持っていること等を説明しました。このたび示した、小学校へ複合化する標準的な施設は、小平第十一小学校をモデルとし、地域コミュニティ醸成の観点から検討したのですが、今後、小学校を更新していく際には、同様の視点で、公民館機能及び地域センター機能を小学校へ複合化していき、新しい地域コミュニティ施設を小学校へ備えていく考え等を説明しました。

【開催日等】

- ① 令和2年11月10日(火) 18時30分から19時30分
場所：花小金井北公民館 ホール
参加人数：6名
- ② 令和2年11月12日(木) 18時30分から19時30分
場所：花小金井北地域センター 第一・第二集会室
参加人数：3名
- ③ 令和2年11月14日(土) 10時00分から11時00分
場所：小平第十一小学校 体育館
参加人数：10名



小平第十一小学校での説明会の様子



【主な質疑応答等について】

- ①複合化後の施設の跡地については、地域活性化等を見据えて、貸付や売却等は考えているのか。
- （市）具体的には決まっていません。例えば花小金井北公民館等は、老朽化が進んでいることを踏まえて解体し、売却することで今後の公共施設の更新に係る原資とすることは考えられます。また花小金井北地域センターは、比較的新しい建物なので施設の貸付も含めて検討していきたいと考えています。
- ②建設工事期間中に子どもが十一小に通う予定である。工事は学校敷地内で行う予定か。また、工事期間中に児童が近隣の他校へ振り分けられ、通うことになることはあるか。
- （市）現段階では、工事は学校敷地内で行う予定です。他校への通学の想定はありません。
- ③公共施設を複合化すると地域は盛り上がると思う。ただし、防犯に関することが気になる。地域で見守る等もあるが、不特定多数が学校へ入り込むため、危険もあるのではないか。
- （市）セキュリティについては、重要なことと認識しています。基本計画を策定する中で、防犯についても地域の意見を聞きながら検討していきます。学校と地域の施設を完全に分断してしまうと地域コミュニティが育たないため、セキュリティを確保しながら、地域と学校の重なりをつくっていききたいと考えています。他自治体の事例を参考に、十一小地域で何が最善かを研究していきます。
- ④延べ床面積の縮減を考えると、学校として使用できる部分が少なくなるのではないか。
- （市）教室数等、学校として必要な面積は確保していきます。市全体としては、将来的には児童数の減少に合わせて学校の数を適正な規模にしていくことや、公民館、地域センター等の地域対応施設を小学校へ複合化することにより延べ床面積を縮減していきます。
- ⑤花小金井地域には小学校が3校あるが、市の端に位置しており、複合化により、利用者にとっては利便性が落ちる。
- （市）複合化により公共施設が遠くなる方もいれば、近くなる方もいます。人口減少等を踏まえると、今と同じ場所に、同じ規模の施設を建てていくことはできないと考えています。小学校は児童が通える距離に位置しているので、市としては、小学校単位での地域コミュニティの醸成を見据えており、この範囲であれば地域の方に利用していただけたらと考えています。
- ⑥図書館分室は老朽化しており、床面積100%縮減から閉鎖となることは仕方がないと考えているが、小学校の図書室を地域に開放することは検討してもらえないか。
- （市）花小金井北分室が開室した後に、花小金井図書館や大沼図書館が開館し、近隣市との相互利用も始まったことで、図書館環境は開室当時から改善されています。小学校の図書室の地域開放については、現時点では開放の予定はありません。
- ⑦花小金井北地域センターの地域に住んでおり、自治会でも利用している。地域センターは地域が利用することを前提に建てられているのであり、もっと地域の利用者のことも考えてほしい。
- （市）市としては、単なる効率化ではなく、複合化により地域センターと公民館の利用者が交わって新しい交流や活動が生まれるようなことを目指していきたいと考えています。様々なご意見を踏まえながら、進めていきます。
- ⑧花小金井北公民館、花小金井北地域センター、十一小学童クラブの3つの施設を複合化することは既に決めたことなのか。
- （市）9月に複合化する施設の検討状況について市民説明会を開催し、学校経営協議会、PTA、民生・児童委員等の学校や地域に関わる組織等へも説明を行い、複合化の方向性を示しました。今後、複合化する施設の方向性については、丁寧に説明を重ねていき、市民の皆様へ理解を求めていきます。令和3年秋頃までに最終的に基本計画策定により確定します。



【お問合せ】 小平市 企画政策部 公共施設マネジメント課
〒187-8701 小平市小川町 2-1333 TEL042-346-9557 FAX042-346-9513
メールアドレス facility-mg@city.kodaira.lg.jp